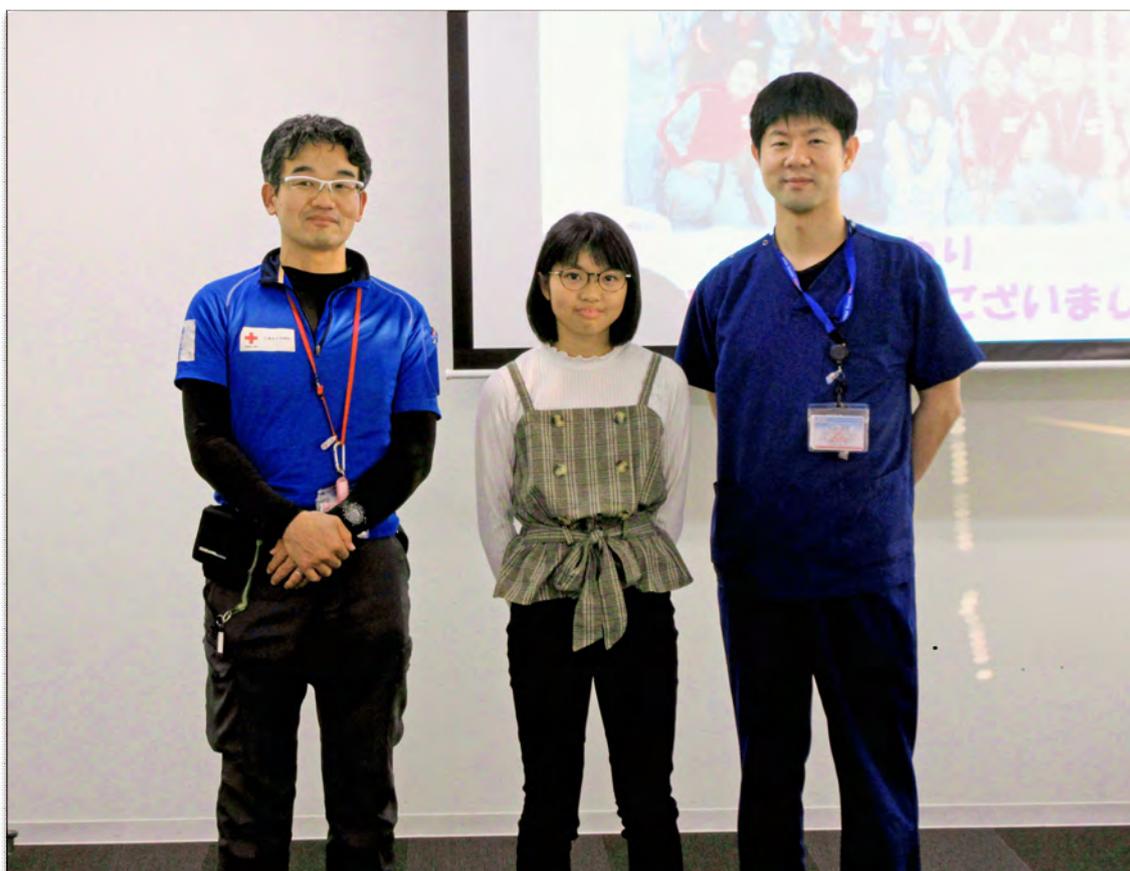


令和元年度

あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

チャレンジの軌跡

< 記録集 >



旭川市子育て支援部子育て支援課青少年係

目 次

I 事業概要	1
II 令和元年度 研修報告	
大 賞 旭川市立緑が丘中学校1年 原田 樹里	2～18
奨励賞 旭川市立六合中学校1年 小嶋 麻由	19～21
奨励賞 旭川市立北門中学校2年 石川 吉峰	22～25
奨励賞 旭川市立神居中学校2年 小山内 優真	26～27
III 11の夢とチャレンジ(令和元年度 応募作集)	28～39

あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト 事業概要

◆ 事業目的

子どもが夢や希望を持ち、自立して生きる力を身に付けることができるよう、市民、団体、企業、行政などが連携し、多様な経験や学びの機会を提供することで、子どもの主体性を育み、旭川市子ども条例の「子どもの夢や希望を応援するまちづくり」の実現に寄与することを目的とする。

◆ 事業内容

子どもたちから、将来に対する夢を叶えるために「今チャレンジしてみたいこと」を募集し、発表・提案内容を審査の上、選考された企画に対し、実現に必要な支援を行う。

○選定件数 大賞1件 ○助成上限額 1件=50万円

○選考方法

<一次選考> 書類審査により5件選定

<二次選考> 「夢とチャレンジについて熱く語る発表会」で大賞1名、奨励賞4名を決定

○チャレンジ研修の実施

(1)大賞 受賞者から希望を聞き、研修先と研修内容について調整し、研修を実施する。
研修実施に係る経費を上限額の範囲内で助成する。

(2)奨励賞 旭川市内の関係機関、企業及び団体の協力が得られる範囲内で、可能な研修を実施する。

○研修報告会

研修実施後に、研修の成果を周知するため、報告会を開催する。(大賞受賞者のみ)

○記録集の発行

実施した研修の内容と応募作をまとめた「記録集」を作成し、中学校や関係機関等へ配付するとともに、旭川市ホームページで公開する。

◆ 令和元年度 実施状況

4月15日(月)～5月13日(月)	応募受付(応募11件)
5月17日(金)	一次選考(5件選定)
6月9日(日)	二次選考会(大賞1名, 奨励賞4名)
7月以降	研修内容協議・研修実施
2月8日(土)	研修報告会開催
3月1日(日)	全ての研修終了
3月下旬	記録集作成・配付

☆ 将来の夢 ☆

『DMATの医師になって
たくさんの命を救いたい』

☆ 今チャレンジしたいこと ☆
(6月のプレゼンテーション内容)



《防災の意識を高める》

①多賀城高校災害科学科の授業を受けたい！

- ・東日本大震災の教訓を生かし、防災・減災学習に取り組んでいる高校の授業を見学・体験する。
- ・科学英語に触れる。

②被災地の状況を見聞したい！

- ・津波の被害を受けた場所に行く。
- ・災害の怖さを再認識する。

《夢をもっと具体的に！》

③DMAT医師の話を知りたい！

- ・大変な現場を経験してきた医師の話を知りたい。
- ・DMATになるまでのこと、現場での体験などについて質問したい。

④ドクターヘリ、ドクターカー、CS室を見学したい！

- ・災害時に活躍するドクターヘリ、ドクターカーの内部がどのようなになっているかを知りたい。

挑戦したいこと

- ✓多賀城高校災害科学科の授業を受ける
- ✓被災地の状況を見聞する
- ✓DMAT医師の話を知りたい
- ✓ドクターヘリ、ドクターカー、CS室を見学する

DMATの医師？

- ・災害派遣医療チームのこと。
- ・大きな災害、事故、事件で多くの負傷者が出たときに現場に直行する。
- ・医師、看護師、救急救命士などから構成されている。



☆ チャレンジ研修スケジュール ☆

日程	研修場所	内容
【研修1】 10月 13～16日 (3泊4日)	岩手県陸前高田市 宮城県南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災津波伝承館を見学 ● 語り部ガイドやまち歩き語り部に参加
	宮城県多賀城高校	<ul style="list-style-type: none"> ● ESD 学習発表会の見学 ● 科学英語や防災に関する授業に参加
【研修2】 10月21日	旭川医科大学	<ul style="list-style-type: none"> ● ドクターカーの見学 ● DMAT 医師との対談
【研修3】 10月24日	旭川赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> ● ドクターヘリ及び通信センターの見学 ● DMAT 医師との対談
【研修4】 11月 8～11日 (3泊4日)	宮城県石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ● 石巻・大震災まなびの案内に参加
	石巻赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模地震災害実動訓練に参加 ● 院長との対談 ● DMAT 医師の特別講義受講
	宮城県仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台防災未来フォーラムの見学 ● 震災遺構 荒浜小学校の見学



研修の内容

挑戦したこと	研修場所	内容
被災地の状況を 見学する	岩手県陸前高田市 宮城県南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災津波伝承館を見学 ・語り部ガイドやまち歩き語り部に参加
多賀城高校 変吉科学科の 授業を受ける 訪問・授業を学ぶ	宮城県多賀城高校 仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD学習発表会の見学 ・科学英語や防災に関する授業に参加 ・仙台防災未来フォーラムへの参加
DMAT医師の 話を聞く	旭川医科大学 旭川赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> ・DMAT 医師等との対談 ・ドクターヘリ、ドクターカー、通信センターの見学
	石巻赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震災害実動訓練に参加 ・DMAT 医師との対談

☆ それぞれのチャレンジ研修報告 ☆

<研修1> 岩手県陸前高田市、宮城県南三陸町及び多賀城市での研修

○ 陸前高田市での研修

【日時】令和元年10月14日（月）午前10時45分から午後3時45分まで

【場所】○東日本大震災津波伝承館（岩手県陸前高田市気仙町字土手影 180 番地）

○陸前高田市内

【講師】○東日本大震災津波伝承館 いわて TSUNAMI メモリアル
小笠原 伸也 氏，佐々木 済通 氏

○陸前高田観光ガイド部会 紺野 文彰 氏

【研修内容】

- ・東日本大震災津波伝承館の見学・解説ガイド
- ・陸前高田語り部ガイドに参加



【研修を通して学んだこと・感想】

陸前高田市では、東日本大震災津波伝承館のガイダンスシアターを視聴した後、『歴史をひもとく』『事実を知る』『教訓を学ぶ』『復興を進める』というゾーンごとに、パネルや展示物を見ながら説明を受けました。学芸員の小笠原さんからは、災害医療チーム DMAT のこともおろまぜながら解説していただきました。

最初に見たガイダンスシアターでは、三陸がこれまで何度も津波に襲われ、そのたびに復興していく様子が描かれていました。ゾーンごとの見学・説明では、この400年の間に、岩手県では17回もの大きな地震が起こっていたことを聞きました。岩手県の人たちからその都度たくさんの教訓が生まれ、今に生かされているのだと思いました。

また、小笠原さんから、DMAT がどのようにして作られたのか詳しく教えてもらいました。DMAT は1995年に起こった阪神淡路大震災で、医療体制があまり整っていなかったことで犠牲者が多く出たことから、それを解決するために作られたということでした。また、DMAT にはいろいろな役割があり、患者を安定させ県外に送り出す SCU (Staging Care Unit) で働く人や、がれきの近くなどの事故現場で治療する人、人手の足りていない病院で治療をする人などいるということがわかりました。

今の災害体制や防災についての考え方は、過去の災害から学び、得られた教訓を生かしているものが多くあることに気づきました。



同じく陸前高田市で、ガイドの紺野さんの案内により、米沢商会、気仙大橋、中学校、諏訪神社を巡り、震災前、震災当時、現在の状況についてと、その土地の歴史などを説明してもらいました。



初めに訪れた米沢商会では、震災当時 15mの津波により、その建物のほぼ全てが襲われたと聞きました。そこで津波の種類についても教えてもらいました。津波には、建物や斜面を駆け上って高さが増す遡上高と、津波そのものの高さの浸水高があると聞きました。東日本大震災では最大の遡上高は 42mほどあったそうです。

ガイドの紺野さんは「津波が全てを洗い流すように建物を飲み込んでいった」と言っていました。災害というものは、誰もの予想を超えていく恐ろしいものだと感じました。



○ 南三陸町での研修

【日時】令和元年 10月 15日 (火)

午前 9時 30分から午前 11時 00分まで

【場所】宮城県南三陸町

【講師】一般社団法人 南三陸町観光協会 阿部 悠斗 氏

【研修内容】

- ・南三陸まちあるき語り部に参加



【研修を通して学んだこと・感想】

宮城県南三陸町では、ガイドの阿部さんに案内してもらいながら、南三陸町の中心部を歩いてまわり、震災前と震災直後、今の状況を教えてもらいました。

案内してもらった時は、ちょうど台風 19 号が通り過ぎたばかりで、土砂や流木などが道端にあたりして、震災当時の様子と重ね合わせて説明をしてもらいました。

この研修の最初に、震災前と震災直後のパネル写真を見比べました。震災前はたくさんの家やお店があり、とてもにぎやかな様子でしたが、直後の写真を見ると全ての家や店が流され、残っていたのは鉄の土台だけでした。改めて、津波が当たり前の日常を全て壊してしまうんだと思いました。

その後に、町全体を見渡すことのできる高台に行きました。高台から町の方を見ると、建築中の復興公園や新しく建てられたお店などがありました。そこで改めて復興が進んでいることを感じました。一方で、家など人が住む建物は全て高い場所に建てられていました。震災当時の話を聞くと、南三陸町は地域のつながりが強く、みんなで頑張ってきたと言っていました。震災のときの医療について聞いてみると、震災から約一週間後に医師や看護師が来たそうです。私は災害時により早く、すみずみまで医療が届いてほしいと思いました。そして、この地域のように、人と人のつながりが強い場所がもっと増えてほしいです。



○ 多賀城高校での研修（1）

【日時】令和元年 10 月 15 日（火）午後 2 時から午後 4 時 30 分まで

【場所】宮城県多賀城高等学校（宮城県多賀城市笠神 2-17-1）

【講師】○宮城県多賀城高等学校 教頭 阿部 浩二 先生
○多賀城高校の生徒の皆さん

【研修内容】

- 学校案内
- 創立記念行事 ESD 学習発表会の見学



一日目は阿部教頭先生の案内により、校内の見学、ESD（Education for Sustainable Development）学習発表会の見学を行いました。

多賀城高校の学校案内では、災害について勉強する環境がすごく整っていると感じました。図書室も専門書が充実していて、興味を持った本があり、旭川に戻ってから入手し読んでみました。

ESD 学習発表会では、多賀城高校で春以降に行ってきた災害に関する研修や活動の報告を聞きました。特に興味を持った内容は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）生徒研究発表会の「都市型津波危険の予測」についてでした。建物の配置パターンによって津波の様子が変わりますが、どのパターンでも津波被害を免れることはできません。しかし、配置パターンと津波の関係を知ることで避難の仕方を変え、被害を減らすことができるという内容でした。地震や台風などの自然災害は避けられませんが、人間の知恵で減災することが大事だと学びました。



○ 多賀城高校での研修（2）

【日時】令和元年 10 月 16 日（水）午前 8 時 45 分から正午まで

【場所】宮城県多賀城高等学校（宮城県多賀城市笠神 2-17-1）

【講師】○宮城県多賀城高等学校

教頭 阿部 浩二 先生

教諭 塗田 永美 先生

教諭 佐藤 寿正 先生

教諭 佐藤 智広 先生、鈴木 千枝 先生

ALT ローウェン・フッカム 先生

○多賀城高校 1-7, 2-6, 2-7 の生徒の皆さん



【研修内容】

- 多賀城高校の授業に参加（1 校時～3 校時）
- 阿部教頭先生の研修講評

二日目は、実際に高校の授業に参加させてもらい、科学英語や防災に関する授業を受けました。

- 1 時間目 塗田先生 『自然科学と災害 A (生物)』 心臓, 腎臓, 肝臓について
- 2 時間目 佐藤先生 『情報と災害』 カラーデータの取扱いについて
- 3 時間目 佐藤先生, 鈴木先生, ローウェン・フッカム先生
『科学英語』 火山や洞窟などについて英語でクイズ
- 4 時間目 阿部教頭先生 『研修講評』 授業の感想や災害科学科の話をしました。



授業では、グループワークで学習することが多くありました。一緒に学習するのが高校生なのでとても緊張しましたが、グループワークで話し合ううちに、打ち解けることができました。

今回の授業は、直接災害に関わったものでありませんでしたが、基礎を学び、災害に関連づけて考えるという内容でした。例えば、2 時間目の『情報と災害』の授業では、カラーデータについて学んでから、衛星写真による台風の見え方の違いについて学び、気象災害と関連づけて勉強しました。

多賀城高校では、日常生活と災害を結び付けて考えて、防災に生かすことが大切だと学びました。



<研修2> 旭川医科大学での研修

【日時】令和元年10月21日（月）午後2時から午後4時まで

【場所】旭川医科大学（旭川市緑が丘東2条1丁目1-1）

【講師】○旭川医科大学医学部 救急医学講座

教授 救命救急センター長 藤田 智 氏（DMAT 医師）

医師 岩原 素子 氏

看護師 練合 若菜 氏（DMAT 看護師）

薬剤師 山田 峻史 氏（DMAT 業務調整員）

【協力】旭川医科大学 総務部研究支援課 社会連携係

※「旭川医科大学体験学習事業」として受け入れていただきました。

【研修内容】

- ・ドクターカーの見学
- ・救命救急センターの見学
- ・DMAT の医師，看護師及び薬剤師との対談



【研修を通して学んだこと・感想】

旭川医科大学では，藤田先生，岩原先生，練合先生，山田先生にお世話になりました。

研修内容は，ドクターカーのユニフォームを着て，ドクターカーと救命救急センターの見学，DMAT の方々との対談をさせていただきました。

この研修では，DMAT について知らなかったことをたくさん知ることができて，とても刺激になりました。医師の藤田先生，薬剤師の山田先生から DMAT は医師1名、看護師2名、業務調整員1名から構成されていて，皆それぞれのプロフェッショナルだと教わりました。その一人一人が協力してチームとなって初めて人を助けることができます。

私はこれまで医師の仕事ばかりに目を向けていました。今回いろいろな立場の方の話を聞いて，DMAT はチームとなることで命を救えるということがよくわかりました。また，ドクターカーは医師を現場に運ぶことで治療を早く始めることができ，救命率が上がるとともに，その後の治療もスムーズに進めることができることを学びました。



<研修3> 旭川赤十字病院での研修

【日時】令和元年10月24日（木）午後2時から午後5時まで

【場所】○旭川赤十字病院（旭川曙1条1丁目1-1）

○道北ドクターヘリ格納庫（旭川医科大学敷地内）

【講師】○旭川赤十字病院

副院長 救命救急センター長 小林 巖 氏（DMAT 医師）

看護師長 三上 淳子 氏（DMAT 看護師）

外来業務課 救急係 北山 友紀枝 氏

○通信指令センター，ドクターヘリ業務担当の皆様

【研修内容】

- ICU, HCU, 救急外来等の見学
- CS室の見学, レクチャー
- DMATの医師, 看護師との対談
- ドクターヘリの見学・試乗

旭川赤十字病院では、小林先生、三上先生、北山さんにお世話になりました。

ICU, HCU 及び救急外来の見学、小林巖先生との対談、CS室の見学を行いました。その後、道北ドクターヘリ格納庫へ移動し、ドクターヘリの見学、フライトスーツの試着をさせていただきました。

旭川赤十字病院内では、実際に患者さんがいるICUやHCUを見学しました。ICUでは、呼吸器をつけた患者さんが体を起こして座るリハビリを行っていました。

救命救急センター長の小林先生によると、患者さんを助けるだけでなく、退院後の生活にもなるべく影響がでないようにすることも大切だということです。また、この仕事はたくさんの人たちと協力してする仕事で、一人では何もできないとおっしゃっていました。いろいろな専門知識を持った人たちが協力しなければ患者さんを助けることができないので、コミュニケーション能力を上げることも大切だと思いました。



○ 道北ドクターヘリ格納庫

ドクターヘリ見学では、格納庫の中で、フライトスーツを試着させてもらい、ドクターヘリに乗ることができました。中は思ったよりも狭く、たくさんの機材がぎっしりと詰まっていました。このことによって、緊迫した現場でも機材が取り出しやすくなっていて、処置に必要な道具が備わっていると感じました。

また、この日の業務担当のフライトドクター・ナースの方々や、操縦士、整備士の方からいろいろな話を聞くことができ、とても充実した研修となりました。



<研修4> 宮城県石巻市及び仙台市での研修

○ 石巻市での研修

【日時】令和元年11月8日（金）午後3時から午後6時30分まで

【場所】○石巻市内

○石巻赤十字病院（宮城県石巻市蛇田字西道下71番地）

【講師】○石巻観光ボランティア協会 事務局長 高城 禎彦 氏

○石巻赤十字病院 災害医療研修センター長補佐
災害救護係長 高橋 邦治 氏（日本DMAT 隊員）

【研修内容】

- ・石巻・大震災まなびの案内に参加
- ・石巻赤十字病院で大規模地震災害実動訓練の概要説明、震災当時の映像視聴



【研修を通して学んだこと・感想】

石巻での「大震災まなびの案内」では、語り部ガイドの高城さんの体験を聞きながら、被災地の今を見学しました。石巻市の被害は宮城県で一番ひどかったと聞きましたが、海の近くにあった日本製紙、門脇小学校などは建物の被害はあったものの、犠牲者は一人も出なかったそうです。普段から避難訓練をしっかりとやっていたことが役に立ったと言っていました。

改めて、日々災害に備えて生活していくことが大切だと思いました。このような見聞を生かして、みんなに伝えることで、自分を含めて周りの人たちの災害に対する意識を高めたいと思いました。



石巻市内のまなびの案内終了後に、石巻赤十字病院を訪問し、高橋さんから翌日に行われる大規模災害訓練の概要説明を受けました。大規模災害訓練は、訓練目的、訓練項目をはっきりと意識し、大地震が起きて大きな被害が出たという想定で行われるとのことでした。訓練には病院だけでなく、近くの市町村や会社、学校、保健所など多くの機関が参加するとのことでした。地域を巻き込んで実施することで、連携が強化されるとおっしゃっていました。

また、震災当時の津波の映像もを見せていただき、まさに今見てきた場所が津波に飲み込まれていく様子を目の当たりにして、改めて津波の恐ろしさを感じるとともに、このまちが震災の被害から復興してきたことを実感しました。



○ 石巻赤十字病院での研修

【日時】令和元年 11 月 9 日（土）午前 8 時 30 分から午後 3 時まで

【場所】石巻赤十字病院（宮城県石巻市蛇田字西道下 71 番地）

【講師】石巻赤十字病院 院長 石橋 悟 氏

救命救急センター長 小林 道生 氏（DMAT 医師）

災害救護係長 高橋 邦治 氏（DMAT）

【研修内容】

- ・大規模地震災害実動訓練の見学
- ・石橋院長との対談
- ・小林救命救急センター長の特別講義受講



【研修を通して学んだこと・感想】

石巻赤十字病院では、院長の石橋先生、救命救急センター長の小林先生、高橋さんにお世話になりました。

大規模災害訓練は、訓練目的、訓練項目をしっかりと理解した上で、大地震が起きて大きな被害が出たという想定で行われました。

この訓練には病院だけでなく、近くの市町村や会社、学校、保健所など多くの機関が参加し、いろいろな職種の方たちが協力して本番さながらに行われていました。

次の 5 枚の写真は、病院内で立ち上げた災害対策本部や、トリアージエリアを通過したあとの黄色エリア、赤色エリアの様子です。





次の2枚の写真は、病院の外側に設置されたトリアージエリア、緑色エリアの様子です。どこのエリアの人たちも、みんな真剣に訓練を行っていました。本当の災害が起こったときにも冷静に対応できるように準備が大事だと学びました。



石橋先生との対談では、大規模災害訓練の感想を話したり、質問をしたりしました。質問の中で、今の災害に対応した仕組みは3.11の時に考えられたことが多く生かされていると聞き、災害から学ぶことはたくさんあると思いました。

また、災害時一度に多くの傷病者が発生した時に治療の優先順位を決める「トリアージ」について私が質問したときに、石橋先生から『急患帳』



をいただきました。

内容は急患が来たときの石巻病院独自の対応マニュアルです。まだ私には難しい内容が多かったですが、その内容がわかるように、これからも勉強を頑張ろうと思いました。

小林先生には、救命医療と災害医療のことについて講義をしていただきました。小林先生が何度も強調しておっしゃっていたことは、普段からたくさんの人たちと顔の見える関係を持つことが大事だということです。もし災害が起こっても、職員が協力して患者さんを助けることができるということ、災害に対する意識を職員全体が持っていることが大切だということです。

今回の大規模災害訓練や他の場所で実施している訓練で、病院の職員以外の消防や関係機関の人たちと顔を合わせ、災害に対する意識を上げることが、被害を減らすことにつながっていくと感じました。



○ 仙台市での研修（１）

【日時】令和元年 11 月 10 日（日）午前 10 時から午後 2 時まで

【場所】仙台国際センター展示棟（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）

【研修内容】

- ・ 仙台防災未来フォーラムの見学
- ・ 震災対策技術展の見学

【研修を通して学んだこと・感想】

仙台市で行われた仙台防災未来フォーラム、震災対策技術展で、発表展示などを見学しました。仙台防災未来フォーラムは、半年に 1 回行われているようです。震災対策技術展には、今回の研修でお世話になった多賀城高校の展示もありました。



イベントでは、発表や展示などを見学し、楽しみながら災害について学ぶことができました。震災対策技術展では、バーチャルリアリティで地震や豪雨の状況を体験しました。映像がとてもリアルで、実際に目の前で起こっているようでした。

防災フォーラムではたくさんの展示があり、中でも段ボールで作るトイレが面白かったです。簡単に楽しく組み立てることができ、災害時には大活躍するそうです。

今回の見学では、具体的な災害への対策を知ることができ、貴重な体験をたくさんすることができました。



○ 仙台市での研修（２）

【日時】令和元年 11 月 11 日（月）午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

【場所】震災遺構 仙台市立荒浜小学校（宮城県仙台市若林区荒浜字新堀端 32-1）

震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎

【講師】震災遺構 仙台市立荒浜小学校 嘱託職員 川村 敬太 氏

【研修内容】

- ・震災遺構 仙台市立荒浜小学校の見学・案内ガイド
- ・震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎の見学

研修の最終日には、震災遺構である仙台市立荒浜小学校の中に入り、ガイドの川村さんに案内してもらいました。

今回のチャレンジ研修の中で、初めて震災遺構の中に入り研修を行いました。これまでの研修でたくさんの震災遺構を訪れていましたが、津波の威力で倒された柵やガレキを取り除いてそのままにしてある教室、320人が実際に避難した建物の中に初めて入って震災の恐ろしさを肌で感じました。





4階の教室では、震災前の荒浜地区の模型と今の様子を見比べながら話を聞きました。震災前は住宅街だった場所が、今では家がなくなっていて、津波は本当に全てを飲み込んでしまうと思いました。

案内が終わった後に海の方へ行き、津波に流され家の土台だけ残っている状況などを見ました。



☆ このチャレンジ研修を通して学んだこと（まとめ）☆

陸前高田、南三陸、石巻の被災地での見聞から、現在の災害対応や防災・減災についての考え方は、過去の災害から学び、得られた教訓を生かしていることを学びました。

多賀城高校のESD学習発表会では、災害に関係する様々な研修や活動の報告を聞き、中でも建物の配置パターンと津波の関係を知ることで、避難の仕方を変え被害を減らせるという内容の「都市型津波危険の予測」と題した発表が心に残りました。

また、基礎科目を災害に関連づけて学ぶ授業を体験し、日常生活と災害を結び付けて考えて、防災・減災に生かすことが大切であることを学びました。

仙台市では、初めて震災遺構の中に入って、校舎の被害状況を目の前にして、災害の恐ろしさを感じました。フォーラムでは、発表や展示、体験型プログラムなどを通じて、楽しみながら防災について学ぶとともに、具体的な災害対策を知ることができました。

旭川医科大学と旭川赤十字病院では、DMAT は医師、看護師、業務調整員から構成され、それぞれがプロフェッショナルであり、ワンチームとなっはじめて人を助けることができることを学びました。様々なスペシャリストが協力しないと成立しないので、コミュニケーション能力を上げることも大切だと学びました。

いろいろな職種の DMAT の方々と話をすることができて、研修前よりも夢を具体的に考えられるようになりました。

石巻赤十字病院の大規模災害訓練では、たくさんの職種の方たちが協力して、本番さながらの訓練を行っている様子を間近で見学することができました。

石橋院長先生から、病院オリジナルの『急患帳』をいただき、目標に向かって強い意欲が湧いてきました。

小林先生からは、学生時代からこれまでの歩みや災害医療のことを聞き、今回の各地での研修のことを思い返しました。小林先生もあるドラマをきっかけとして医師を目指したことを聞き、夢がより身近に感じられるようになりました。



以上のように、東北地方を含む 9 か所で研修を受けることができました。思い出もいっぱいできました。10 日間にわたり、いろいろな場所で貴重な体験をすることができました。

研修では、現地に行き学ぶこと、気づくことが多くありました。東北は 400 年の間に 17 回もの大地震が起っています。その中で生まれた地震の教訓は役に立つものばかりで、その教訓を知り、日々災害に備えて生活することが大切だと思うようになりました。私もこのことを生かして避難バッグを作ったり、旭川市のハザードマップを確認し、避難の仕方を家族内で話し合ったりしました。

また、DMAT の隊員の方たちと話していく中で、カッコいい部分だけではないことも知り、具体的に考え現実も見ることが大切だと思いました。医師になり、DMAT になるまでにはまだ多くの時間と努力が必要になりますが、研修で普段関わることのできないような大人の方たちと話した貴重な体験は、これからいろいろな場面で生きてくると思います。

このプロジェクトのおかげで、夢から目標へ一歩進むことができたように思います。

研修先として快く受け入れてくださった各機関の皆様、私の希望を叶えてくださった関係者の方々、大変お世話になりました。ありがとうございました。



☆ 将来の夢 ☆ 『プロバスケットボール選手になりたい』

○旭川藤星高等学校 女子バスケットボール部の練習に参加

【日時】 [1回目] 令和元年7月31日(水) 午前9時から正午まで

[2回目] 令和元年8月21日(水) 午後4時30分から午後6時30分まで

【場所】 旭川藤星高等学校 体育館(旭川市花咲町6丁目)

【講師】 旭川藤星高等学校バスケットボール部員の皆さん

顧問 河合 美菜 教諭

顧問 伊藤 淳子 教諭

【研修内容】

- ・基礎練習～ハンドリングやストップの仕方
- ・コート上での基本の動き, ゲーム形式の練習



【研修を通して学んだこと・感想】

1回目の練習では, ストップの仕方を教わりました。力強くストップすることでトラベリングがなくなることなど, 基本の基本を教わりました。また, しっかり腰を落としてボールを取る練習をしました。その練習の中で, 仲間をしっかりと見てダメなところを言い合っていました。ダメなところを言い合うことで, お互いに直すことができるので, とても良いことだと思いました。私のチームは, あまりダメなところを言い合わないのて, 強いチームはこういうところもしっかりしているんだなと感じました。





○藤星高校の練習（2回目）

2回目は、コート上での基本の動きを教わりました。次の人が来やすいようにスペースを空けて、味方のことを考えるのがチームプレイだと学びました。最後にはゲーム形式の練習を行いました。藤星高校の皆さんはとても強かったけれど、こんなに強い人たちと戦える機会はなかなかないので、とても良い経験でした。

藤星高校の練習に参加させてもらって学んだことは、できていないところをみんなで注意しながら、仲間同士でコミュニケーションをきちんと取ることが、すごく大事だということです。とても良い練習をさせてもらい勉強になりました。

藤星高校女子バスケット部の皆さん、顧問の河合先生、伊藤先生、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



○富士通レッドウェーブ 町田 瑠唯選手との対談

【日時】令和元年12月22日（日）午後3時30分から午後3時40分まで

【場所】旭川市リアルター夢りんご体育館（旭川市花咲町5丁目）

【講師】富士通レッドウェーブ 町田 瑠唯 選手

【協力】富士通女子バスケットボール部 Red Wave 様
旭川陵雲ミニバスケットボール少年団
コーチ 畠山 順 先生



【研修内容】

- ・町田選手と質疑応答形式での対談

小さい選手でも大きい選手と戦えるように、小さい選手が努力しなくてはいけないことがたくさんあることがわかりました。その中でも、町田選手は「ドリブルなどを一番努力した」とおっしゃっていたので、私もドリブルをたくさん練習してうまくなろうと思いました。

そして、チームがうまくいくためには、みんなが同じ気持ちにならないとだめなんだと思いました。町田選手から、うまくいかないときにこそ声を出したり、ディフェンスを頑張ったり、チームにあまり負担をかけないようにすればいいと教えていただいたので、今回いただいた貴重なアドバイスを、今後の練習に生かしていきたいと思います。



2回目の研修の町田瑠唯選手との対談では、小さい選手は大きい選手よりも何倍も努力しなければいけないことがわかりました。そして、プロになるためには、技術面だけでなく、食生活などにも気をつけて、しっかりとした体を作ることが大切だということもわかりました。

2回の研修を通して学んだことがたくさんあったので、これからの練習や試合に生かしていきたいと思います。そして、今後の目標はバスケの強豪校に入り、プロバスケットボール選手に必ずなりたいと思います。あきらめず頑張っていきます！

今回は貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

☆ 将来の夢 ☆ 『自動車整備士になりたい』

○自動車整備士・ガソリンスタンドの職場体験（メカ・ドック豊岡店）

【日時】令和元年10月19日（土）午前10時から午前11時まで

【場所】モダ石油グループ メカ・ドック環状豊岡店（旭川市豊岡15条6丁目）

【講師】モダ石油グループ メカ・ドック環状豊岡店

店長 吉本 雅彦 氏

茂田石油株式会社 業務支援部

次長 柴田 望 氏

【研修内容】

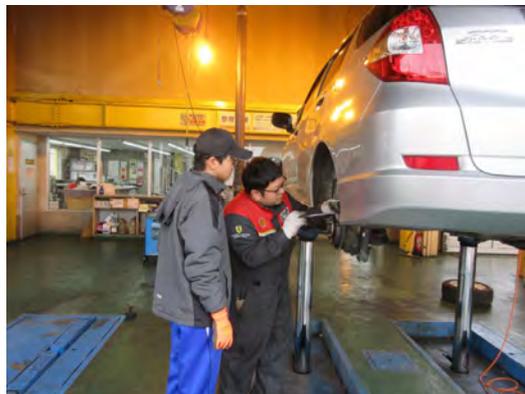
- ・自動車整備工場及びガソリンスタンドの見学
- ・車検・整備の流れやタイヤの基礎知識を説明
- ・給油、タイヤの空気圧チェック等の体験



【研修を通して学んだこと・感想】

モダ石油さんの研修を通して学んだことはたくさんあります。

まず、車検では車の様々な箇所を点検していることがわかりました。点検の種類もたくさんあって驚きました。また、夏の猛暑の中、冬の極寒の中でも一生懸命頑張っていてすごいと思いました。





次に、運転席に移ってシフトレバーのところを開いてオイルの点検の仕方を教えてもらいました。こんなところにオイルが入っていたなんて思ってもいなくて、びっくりしました。

研修の中で難しいなと思ったところもあります。タイヤの空気圧チェックのやり方を教わりましたが、タイヤになかなかエアが入らなくて苦戦しました。だんだんコツがつかめてきたので、また機会があれば練習して何とか克服したいです。



最後に僕が一番心に残ったことは、モダ石油の吉本店長さんに、直接「自動車整備士になれるように頑張ってください。」と言われたことです。その言葉で僕は、「何があっても自動車整備士になろう。精一杯頑張ろう。」と思えました。

僕に研修の機会を与えてくださった茂田石油株式会社の皆様、僕に勇気をくれたモダ石油グループ メカ・ドック豊岡店の吉本店長さん、本当にありがとうございました。



〇ドリフトカーの見学，部品や整備の解説（株式会社 能澤自動車）

【日時】令和2年1月15日（水） 午後1時から午後3時まで

【場所】株式会社 能澤自動車（旭川市豊岡3条4丁目）

【講師】株式会社 能澤自動車 代表取締役 能澤 悠多 氏

株式会社 サントラスト 代表取締役 山田 隼人 氏

一般社団法人 旭川地方自動車整備振興会 業務部相談課 堀田 一寿 氏

【協力】一般社団法人 旭川地方自動車整備振興会 様

【研修内容】

- ・レース仕様の車の見学と整備について解説
- ・タイヤ，エンジンなど各種部品について説明
- ・ドリフトレース映像視聴



【研修を通して学んだこと・感想】

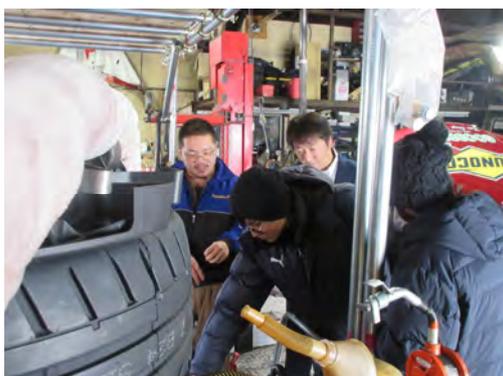
今回は能澤自動車さんを訪問し，実際にドリフトレースに出場している車の見学と，レース仕様車の部品や整備について，説明していただきました。

まず最初に，タイヤについて説明を受けました。レースではタイヤの消耗が激しく，レース後のタイヤはボソボソして溝が浅くなっていました。また，トルクの大きさをターボの効き方が違うことがわかりました。



次にレース仕様車の運転席に座り，運転席から見えるブースターのことを教えてもらいました。

車が速く走るためには，ボディの強度を保ちながら軽量化することが大切だということがわかりました。



最後に、DVDでD1のレースを見せていただき、F1以外のレースもきちんとしたレギュレーションがあることがわかりました。

今回の研修では、レース仕様の車を見学したり、実際に運転席に座ってステアリングを握ったりすることができ、旭川で自動車整備士になるためにはどうしたらいいのか、教えていただきました。能澤さん、山田さん、堀田さん、ありがとうございました。



あさひかわっ子☆夢応援プロジェクトの2回の研修を通して、旭川で働く自動車整備士さんに会って、見学・体験をさせてもらったことにより、整備士になりたい気持ちがますます強くなりました。今回、僕の夢応援プロジェクトに関わってくれた皆さん、本当にありがとうございました。これからも明るく、希望と夢を持って中学校生活を送りたいと思います。

☆ 将来の夢 ☆ 『プログラマーになりたい』

○ゲーミングパソコンの性能，部品交換等についての解説・指導

【日時】令和元年 8 月 8 日（木）

午後 4 時から午後 5 時まで

【場所】リサイクルパソコン ビーグル旭川豊岡店

【講師】リサイクルパソコン ビーグル旭川豊岡店

代表 東倉 正志 氏

【研修内容】

- ・ゲーミングパソコンの性能と部品交換について
- ・メモリの増設方法について



【研修を通して学んだこと・感想】

今回は，リサイクルパソコン ビーグルさんを訪問し，パソコンの性能を上げるためには何をすべきか学ぶことができました。

今回学んだことは，タスクマネージャーからパフォーマンスを出して，CPU，メモリ，ネットワークの状況を知ることができました。その結果，ネットワークが悪いことがわかりました。そこで，無線から有線に変えることで，良い結果を得ることができました。

この研修を受けたおかげで，ゲーム中の快適さを求めることができました。PC のことについていろいろ学び，単純に部品を良いものに交換すれば性能が上がるわけではないことがわかりました。

また，クーラーなどを変えたほうが良いとアドバイスをいただいたので，今度変えてみたいと思います。今後もいろいろとアドバイスいただけると言ってもらえたので，また困ったときなどは教えてもらいたいと思います。



○eスポーツに関する対談・講義受講

【日時】令和2年3月1日（日）午後1時15分から午後3時まで

【場所】千歳市総合福祉センター 3階306号室（千歳市東雲町2丁目34番地）

【講師】ライトニングワークス合同会社 代表 三輪 智也 氏

（北海道eスポーツ連絡協議会eスポーツプロデューサー）

【研修内容】

- ・講義 ～ プロゲーマーとEsports， e-Sports への正しい関わり方 ～
- ・対談 PC環境， PCゲーム， eスポーツ等についての質疑応答



【研修を通して学んだこと・感想】

プロゲーマーになるために今回の研修で学んだことは、モチベーションを維持すること、体調管理をしっかり行うこと、反省点を見つけてフィードバックすることです。この三点をしっかり実践することで、安定して上位に行ける強さを身につけることができることがわかりました。また、プロゲーマーとして成り立つためには、個人の価値を高めないとスポンサー収入が得られないので、実績・人気・ツイッターフォロワー数など、自分の価値を高めなければならないことを学びました。

そのために今からやるべきこととして、謙虚さを持つこと、自己PR力をつけること、ツイッターでの暴言などを絶対にしないこと、自分を客観視することの4つを教わったので、これから実践していきたいと思います。

今回の研修で貴重なアドバイスをいただいたので、体調管理を大切にしながら、モチベーションを維持することを課題として、これからもe-Sportsに向かい合っていきたいです。

とても良い体験をさせていただき、ありがとうございました。



11の夢とチャレンジ

令和元年度 応募作品集

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

心理カウンセラーになり、色々な人の役に立ちたいです。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ① 心理カウンセラーになるためには臨床心理士の資格をとりに、大学院にいかなければいけません。大学院に入った時、英語の論文を読んだりしますので、英語のレッスンをうけたいです。英語をしゃべれるようになれば、他の国の人たちのカウンセリングもでき、より多くの人役に立ちます。
- ② 様々な人の価値観などがあるということを知るために、国際ボランティアセンターで行われるイベントに参加し、色々な人と接したいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- ・英会話に通うお金(月々約3000円)
- ・ボランティアに参加する時の交通費
- ・ボランティアの参加費

旭川市立六合中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

アノウニサー

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

アノウニスカを高めるために、アノウニス講習会をうけたり、
上手く話せるためのヒケツや、より聞いている人にとって伝わり
やすい話し方をマスターしたいです！

私は、小中学校で生徒会に所属しています。
最近、全校生徒の前で話した時に、すご
くほめられたので、さらに上手くなって仕事
がもっと増えたらいいなと思いました。

話すのが上手くなる
↓
話すまわいが増える
↓
自らの経験になり、
より成長を目指していく。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

お金、アノウニスが上手い人、話す原稿、マイク、場所 など

旭川市立明星中学校 2年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

吉田亜沙美選手のようなプロバスケットボール選手になりたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

夏ごろ、JX-ENEOS Sunflowersの体育館に行き、バスケットを教えてください。大好きな吉田亜沙美選手に教えてくださいけど、もう引退してしまったのでSunflowersのみなさんに教えてください。ポイントガードとしての技術を磨くために色々な技術を教えてください。将来プロバスケットボール選手になって、オリンピックにでることが目標なので今後、どのように練習していけばいいか教えてください。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

人、お金、Sunflowersのみなさん、ひまわり寮の体育館、飛行機、電車。

旭川市立六合中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

作家になりたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

自分が書いた原稿を製本して出版してみたいです。
その私の本で、誰かを応援できるかもしれないのに、
私にとっても夢への大きな弾みになります。
私が書くのは小中学生が主人公の物語で、
対象も主に小中学生ですが、大人の方でも楽しんでいただけるであろう
みんなに伝えたい話です。
ぜひ私の作家という夢を支援していただきたいです。
よろしくお願いします！

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

出版できるのであれば、その分のお金が必要になると思います。
刷って、まとめて、店頭においていただいと
コストがややかかりそうです。

旭川市立東光中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

DMATの医師になってたくさんの命を救いたい!

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- 宮城県に行き被災地の今の状況を見学したい!
- 宮城県多賀城高等学校の災害科学科の授業を受けたい!
- DMATの医師に東日本大震災のときの話を聞きたい!
- ドクターヘリ、ドクターカーの見学、ドクターヘリのCS室の見学をしたい!

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- 宮城県への交通費 ◦DMATの医師 ◦病院の許可
- 高校の許可 ◦ドクターヘリ ◦ドクターカー

旭川市立緑が丘中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

だれにでも、な、とくしてもらえる
かみがたをつくれる 美容師

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

実際に、ハサミや本格的なワラなどをつかい、
美容師にな、た気分で、ウィッグのかみの毛を切、ていき
たいです。しかし、ただ自分の切りた、いように切るよう
では、私の夢は実現しない、と思うので、あらかじめ、お題
のえ、ったクジをつくる、といい、と思います。

くじの中には、『ベリーショート』、『ショート』、『ボブ』など
かみの毛の種類、などを書いた、紙を入れます。
それを、一番最初にひ、き、お題に、あったかみがたをつくり
ます。

☆ チャレンジの実現に必要な、と思うもの ☆

- | | | |
|----------|---------|--------------------|
| ・ウィッグ | ・ミサギーター | ・お題を書いた紙
を入れてくじ |
| ・ハサミ(ミサ) | ・ヘアアイロン | |
| ・スプレーヤー | ・ダッカード | |
| | ・テツコーム | |
| | ・テールコーム | |

旭川市立東陽中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

プログラマー 大会に出場

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ① 僕の夢はプログラマーになることです!!
- ② 今チャレンジしてみたいことは、
 - ・ YouTubeで配信
 - ・ プログラマーと対戦してみたい
 - ・ 大会に出る
- ③ するために必要なことは
 - ・ ゲームの練習量 ... プログラマーの1週間の練習は60時間とされています。僕はまだ中学生なので、42時間を目標として毎日練習をする
 - ・ 体力をつける ... 体力は、今部活をや、で体力をつけていきたい。
- ④ 色々な実績を積み、旭川の最強プログラマーになり旭川を有名にしたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- 必要なと思うもの
・ 機材をそろえたい (・ モニター ・ キーボード ・ 机 ・ マイク)
・ PC ・ マウス ・ イス ・ カメラ)
- ・ プログラマーに会って指導を受けたい
 - ・ 大会の出場のためのお金

旭川市立神居中学校 2年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

世界一のテニス選手になりたい
全国大会で優勝したい!!

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

ぼくは、将来世界で通用するテニス選手になりたいです。そのために冬休みにアメリカのフロリダにあるIMGアカデミーに行って世界の人がどれだけのレベルなのかを知りたいし、上手な人ともやってみてもっと上手になりたいです。なのでIMGアカデミーに行って、日本とは違う練習方法があると思うので、帰ってきてからもその練習方法を取り入れたりなどして、その経馬金を生かして世界一のテニス選手になりたいです。そして旭川の人たちを喜ばせたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- ・テニスコート (家から一番近いテニスコートまで約8kmだから)
- ・いつでもテニスができるテニスコート (冬も、雨の日も)
- ・毎日の練習
- ・チャレンジする気持ち
- ・周りの人たちの支え

旭川市立緑が丘中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

本が好きなので本関係の仕事に就きたいです。
(いつも市立図書館を利用して年間200冊程度読んでいます)

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

今年の夏、「こども霞が関見学デー」の日に国立国会図書館の見学をしてみたいです。なぜなら日本で発行される全ての資料を保存している巨大な図書館であり、興味があるからです。また、普段は特別な手続きなしでは18才にならないと入館できず見学デーの日にぜひ一度行ってみたいからです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- ・国立国会図書館までの交通費 (旭川空港～羽田空港までの航空費、
↳ (東京本館) 羽田空港～国立国会図書館までの交通費、
必要時宿泊費)
- ・「こども霞が関見学デー」は今年は8/7(水)・8/8(木)である
- ・見学デーは保護者同伴のため母同伴での参加を希望です

旭川市立北門中学校 1年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

自動車整備士

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ① 鈴鹿サーキットで行われているロードレースやF1で活躍されている自動車整備士さんとレースに使われている車を見たい
- ② 早い自動車が好きなのでレースに使われている車を整備している方と出会いチームワークの大切さやレースに勝つために日々心がけていること自動車整備士になるには何が一番大切か聞いて夢を実現できるようにモチベーションと継続的に頑張れる力を付けられるようにおねがいします。
- ③ あせらず、くせらず、あきらめず、今目の前の各種検定を落ちても合格するまでがんばる。
自動車整備士も国家試験なので今から大切な根気をつけたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- 北海道から鈴鹿まで往復496420円
- 未成年なので保護者
- 明るく希望をもって頑張る😊

旭川市立北門中学校 2年

平成31年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

最先端技術でたくさんの人を
助けれる医師になりたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ・たくさんの医師の方と話してみたい!
→ 日本の最先端医療技術についてぜひ (今、最も注目を浴びている
順天堂大学順天堂医院
の医師の方々と話したい!)
- ・実際に手術をしているところを見たい!
→ どういう流れで行っているのかな
パート・エターナ
- ・最新MRI (APERTO Eterna) を見たい! (金沢大学医薬保健研究
域附属健康増進科学センター)
→ 大きき、音 かな
- 「8Kロボット手術」についてくわしく
知りたい! (NTT東日本関東病院) 何ヶ所かの最先端の医療現場
に行くことで夢への視野が
広がると思いました。
- ・研究所に行きたい!
→ 活動内容、どのような研究なのか かなを知りたい! (国立成育医療研究
センター 医療機器
開発部)

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

医師, 旅費

北海道教育大学附属旭川中学校 3年



旭川市シンボルキャラクター

あさっぴん



旭川市キャラクター

ゆっきりん

令和元年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
チャレンジの軌跡 <記録集>

編集・発行 令和2年3月
旭川市子育て支援部子育て支援課青少年係
〒070-0037 旭川市7条通10丁目
旭川市第二庁舎 5階
TEL (0166) 25-9847
FAX (0166) 22-3275